


令和7年度
盛岡市地域おこし協力隊
活動報告

吉田一生
(R6.3/1～)



はじめに

名前 吉田一生（よしだ いっせい）

出身 岩手県・矢巾町赤林

その後 東京→神奈川・川崎→盛岡
（バンド活動→飲食業→協力隊）

職歴 アルバイト色々・居酒屋・蕎麦屋
うなぎ屋・ベトナム料理屋・大分料理屋

好きなもの 音楽 / 少年ジャンプ / DIY

苦手なもの すいか

家族 妻（出身・広島） / 長女（7歳） / 次女（3歳）



協力隊の任務

つどう、つながる、つむぎあう。



道の駅

もりおか渋民

Morioka Shibutami

開業に向けての

商品開発

3月



川崎市→盛岡市に引っ越し！協力隊に入隊！

3月



活動場所の玉山地域探索。

引っ越しが決まり、いよいよ始まった
協力隊活動。

今までの職場とは、土地も仕事も全然違う！
まずは地域を知るためにフィールドワーク。
石川啄木、姫神山、特産品……。
知れば知るほど玉山地域の魅力に触れていく
毎日。

3月



4月



郷土食の試作から商品開発のヒントを学ぶ!

4月



地域とのふれあい・探求。

玉山市役所職員さんのご実家に協力してもらい、
初めての「きりせんしょ」作り！

「きりせんしょ」の特徴でもある線状の模様を付ける型がなかなか手に入らず、自作したり……。

「サクラパーク姫神」での「オオヤマザクラ祭り」は
ほっこり楽しいイベント！

羊の赤ちゃんを飼っている人と出会った。

4月

噂の黒平豆とご対面！

「ユートランド姫神」の産直は安くて良い野菜が沢山。



5月



商品開発、開始！

5月



色々作ったり、参加したりも増えてきた。

玉山の素材で作る新しいスタイルのサンドイッチ

「たまドッグ（仮）」！

「姫神サーモンのオイル漬け」を挟んだり、試作して、試食して。

5月

盛岡市と学生が、たみっとの開業目指して商品開発を行う

「モリのタネプロジェクト」にも積極参加！

玉山地域の先輩協力隊から、「鹿の角」「鹿肉」おすそわけ！

角はキー&スマホスタンド、肉はローストで食べたり、

コンビーフ風にしたり……いい感じでした。

6月



玉山地域の農産物で試作!

6月



農家さんのお手伝い・IAFS・学生と郷土食作り。

姫神サーモン、手作りした黒平豆腐の厚揚げとクレソン、
紅白なますを挟んだボリューム満点、だけどサクッと食
べられちゃう！「たまドッグ（仮）」、食べたいですか？

黒平豆のきな粉や、とうもろこしでの試作も行った！

とうもろこしが甘く美味しい地域だと知った。

「岩手大学」開設の農業ビジネススクールに入校！

「いわてアグリフロンティアスクール・IAFS」ではとても

楽しく学びを得られた。

盛岡農業高校と地域の連携授業にも参加。

6月

7月



試作！玉山プレミアムかき氷！

7月



盛岡の夏・①

夏といえば「かき氷」！

玉山地域の「プレミアムかき氷」、試作スタート！

藪川地区のブランドとうもろこし「山寒果実」

摘果を手伝いした「渋民ブルーベリー」

皮の破れや欠けなどの規格外品で「黒平豆焙煎きな粉」

盛岡も普通に暑くなる事を知った……。

20年ぶりくらいに訪れた岩山展望台。故郷を見つめる「石川啄木」先生にご挨拶。

肴町は当時「monaka」開業間近だった。

7月



8月



玉山夏まつりで初出店！



8月



盛岡の夏・②

「モリのタネプロジェクト」参加メンバーみんなで、
「玉山夏まつり」出店！

生出の水で作ったかき氷、玉山地域の農産物のコラボ！
「たみっと」PRの為に一丸となって頑張れた夏。

盛岡の夏はやっぱりさんさ祭り。太鼓の迫力と人込みに、子供たちも大興奮！

生育を見守ったとうもろこしも順調。

8月

イベント出店にお祭り、勉強のためにいろんな所に顔を出して気が付けばあっという間の夏だった。

9月



イベント出店・試作の日々。



9月



協力隊との交流も少しずつ増える。

試作品のテスト販売の機会も増えていった。
東北屈指のフリーライブイベントでたみっとPR！
「いしがき MUSIC FESTIVAL」では沢山の人にたみっと、
玉山地域を知ってもらえた。
「渋民ブルーベリー」を使ったゼリードリンクを野外
上映会で販売。IAFSによる「よ市」出店では薮川地区
のもろこしぜんざいを出品した。
市内外の協力隊の活動から刺激を受ける事も増え、
交流の場で勉強させてもらおう。

9月

10月



得意のエスニックを活かした商品開発!

10月



初めてのワークする側・協力隊同士の交流。

川徳での「食と民芸展」に参加！盛岡市と花蓮市との
コラボ、台湾の伝統食「牛肉麵」を販売。

ユートランド姫神では先輩協力隊が行ったマルシェで
試食会を実施。

「モリのタネプロジェクト」で、初めてワークショップの
仕切りを任され緊張……。

10月

盛岡市の協力隊同士で交流会開催！親睦を深める場では
いのしし肉のタンドリー風、ハーブ漬けなど趣味全
開で料理をふるまった。



11月



どよ 豊田近郊の
**たみっと
ヌードル**
20分ラベースのすっさり
スープ！
レギュラー：¥500
ハーフサイズ：¥450
運の味「もりおが浜」
最新情報発信中！



動物公園で販売・学生と地域のお手伝い

11月



セミナー・市内外・学びまくり

盛岡市の動物公園、「ZOOMO」にてイベント参加！

玉山素材と盛岡産の米粉麺を組み合わせた

「たみっとヌードル」で地域と道の駅のPRをしました。

地域と学生、食の連携お手伝い。前回仕込んだ黒平豆

の味噌の様子をみたり、過去の味噌を実際に食べてみ

た。もちろん、抜群に美味しい！

勉強のために、色々な場所に顔を出して参加！

協力隊同士のセミナー、勉強会など学べば学ぶほどやり

たい事が増える……。

11月



12月



うるま市と盛岡市、食で交流のお手伝い。



12月



盛岡市と友好都市提携している、沖縄「うるま市」と食の交流について提案。農業普及センター、岩手県「食の匠」に監修をしてもらいうるま市の食材で盛岡・岩手の郷土食を作ってみた！

「黒平味噌のゴーヤチャンプルー」「モズクのかきあえ」

「藪川そばと沖縄天ぷら」うるま市の皆様に提案しました。学生と一緒にたみっとのPR動画を撮ったり、初めての冬を迎えた道の駅の雪かきをしたり。

矢巾町の協力隊からしめ縄リースの作り方を

12月

教わった！縄が結えるようになる。

1月



きなこやりんご、米粉麺で玉山を表現。

1月



盛岡の冬・②

がんちゃんドーナツ、渋民りんごティー、それにたみ
っとヌードルなど冬向けの試作。

盛岡の冬は外出が難しく、イベントのやり方なども考
える必要があると学んだ。

1月

同じ「渋民」地区に開業する一関市「道の駅だいとう」
こちらにも協力隊が関わっていて、視察や意見交換な
どをさせてもらった！お互い、地域と人に愛される道
の駅に出来るといいな。

お正月はおせち作り。もちろん黒豆は「黒平豆」！



五山地区の#特産品!
#がんくい豆のきんこ
#たっぷり
#美味しいお味

#がんくい豆きなこの
#揚げドーナツ
#がんちゃん
#白はもちもち
#黒は果糖
#2個セット!
#¥200

モジージュ
MOJIO

五山地区の#特産品!
#がんくい豆のきんこ
#きんこを使用した
#産産のきんこ
#美味しいお味

#がんちゃんしるこ
#¥400

温か〜い

#黒芋豆
#がんくい豆
#王子モチ白玉

モジージュ
MOJIO



2月



がんちゃんシリーズと啄木かるた。



2月



アグリ管理士！励ましと協力！

玉山地域の重要イベント、「啄木かるた大会」と
盛岡市の中心、大通り近く「クロステラス」でPR！
黒平豆を使った商品で、たみっとと地域をアピールする
ことが出来た。

年間を通して通った「IAFS」、なんとか卒業！ひよっこで
すが、「アグリ管理士」になりました。

玉山地域への広報紙「あのな - 版」も発行中。

2月

地域の方から反応を聞いたり、活動内容を理解してもら
う事が出来てとっても嬉しい！

娘が書いてくれた「みちのえきやさん」に励まされる。

3月



「食」でつなぐ地域と人

3月



最高のOPENを目指して!

東京、文京区の「交流都市フェスタ」では盛岡のPRをお手伝い。

イベント自体も非常に盛り上がっていた！

黒平豆の煮汁や、石川啄木の出生地ゆかりの物など地域資源
活用の為アイデア出し。

たみっと OPEN に向けて、「モリのタネプロジェクト」も加速
していく。

みんな目指す「最高の道の駅 OPEN」はもうすぐそこまで
来ている！

力になれるように、出来る事を精一杯やる。 **3月**

そして、OPEN 後は訪れた人がファンになる道の駅を目指し
ていきたい！

- 地域資源の再発見、土地の魅力探求
- 地域課題の洗い出しと吸い上げ
- 農産物規格外品の商品化に向けた試作
- 地域住民、事業者、農家との交流
- 商品開発に必要な知識、環境についての学び
- 地域おこし協力隊同士の交流
- 地域おこし協力隊の活動周知
- SNSでの活動周知

これまでに①

- 道の駅開業に向けての PR 活動
- 「モリのタネプロジェクト」参加
- プロジェクト内での商品販売、制作協力
- 道の駅開業前視察の手伝い
- 市内外でのチラシ設置お願い
- 交流都市との連携・支援
- 道の駅開業後の活用に向け準備

これまで・②

- ほうれんそうが甘く、一人で動く場面が多かった。
- 地域や事業者との連携が足りなかった。
- 自身の能力を把握できていない。
- 計画性を重視した行動に欠けていた。
- 協力体制の構築が足りない。
- ビジネス感覚が足りない。
- 成果として商品を残せなかった。

反省

これから・①

たみっと × 地域 × 人 = 特産品

道の駅に訪れた人、利用した人が
地域の課題や自分の願い、悩みを
解決できる人に出会える場所。

地域課題・困りごと

歴史・文化

たみつと利用者

事業者・農家

行政

地域住民

フューチャーセンター

吉田

テナント

産直

レストラン

商品・アイデア・企画

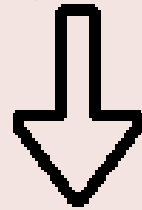
これから・②

人と土地をつないで、一緒に悩みを解決できる。

解決方法に、自分の得意な分野「食」を利用する。

その為に、たみっとで交流出来る機会を作る。

交流で生まれた望みを叶える



最高の商品が産まれる

自分一人で出来る事は少ないことを知った。

頑張り方にも種類がある事を知った。

結果は行動についてくるもの。

「たみっと名物」を産み出すために

今後とも活動を続けていきます！

まとめ

ありがとうございました。



Instagram →



<https://www.instagram.com/tamayamanotama/>